

森づくり最前線

埼玉森林管理事務所 大滝森林事務所 主事 田原 幹丈

大滝森林事務所は、埼玉県秩父市の西側を管轄し、東京都、山梨県、群馬県、長野県の都県境に隣接した約9千haの国有林を管理しています。

管内の国有林は、全域が秩父多摩甲斐国立公園や県立自然公園に指定されています。日本百名山として挙げられている甲武信ヶ岳、雲取山等2千メートル級の山々が連なる秩父山地の東側にあり、コメツガやシラビソ等からなる常緑針葉樹林が広がっています。また、保護林や緑の回廊が設定されていることから、自然環境の維持や生物多様性の保全を重視した管理経営を行っています。

そのため、当森林事務所の業務は、境界巡視や貸付地の確認などの管理的用務が主体となっています。特に、境界巡視については、境界標が都県境に設置されていることから、境界標までのアクセスが非常に悪く、徒歩で片道2時間以上もかかります。移動時間を考慮すると作業できる時間が限られ、体力を消耗します。ドローンを使用した境界の巡視も行っていますが、稜線や沢等は撮影できないため、徒歩での巡視が多く苦慮しております。登山者が宿泊する山小屋や避難小屋が多数あり、それら貸付地の現況確認は年間計画を立て森林管理事務所内の職員の協力を得て実施しています。今年度は、十文字山にある山小屋等の現状確認を1泊2日で実施しました。その他、新植やシカ柵設置の請負作業の監督職員補助とシカ柵の点検、シカの捕獲にも取り組みました。

私は、当森林事務所に新規採用で配属されて3年目になりますが、森林事務所の現場業務は4月から初めてです。先輩方や非常勤職員に現場を案内していただきながら、仕事を進めています。今後も山岳や渓谷の景観を楽しみつつ、国有林の管理を行っていきたいと思います。



ドローンによる境界巡視



貸付地（四里観音避難小屋）の現状確認



シカわな設置中の筆者